

富士見地区公会堂管理事務所 開所曜日変更のお知らせ

2018年8月より、富士見地区公会堂管理事務所の開所時間を以下のように変更させていただきます。また、お盆期間中は閉館とさせていただきます、公会堂の申し込み予約受付もお休みさせていただきますのであらかじめご了承ください。

○ 富士見地区公会堂管理事務所開所曜日・時間

月火木金 朝9時30分～昼11時30分 (水・土、祝日休)

公会堂予約受付 事務所開所時 2-2833 開所時間以外 070-3175-7253 (夜7時まで)

○ お盆閉館期間

8月12日(日)～16日(木)



ありがとう！文化協会：私を育てくれた6年に感謝 前会長 内山 江差夫

催しの充実・協会組織強化・財政確立・文化の島づくりを期待します

私ごとですが、今総会で文化協会会長の任務を解かれました。協会では事務局長2年、会長4年を務め、大変な重責でしたが貴重な体験をさせていただきました。文化協会も7年目の活動となり、活動も軌道に乗り安堵していますが、ここまで協会の皆さんをはじめ、行政など関係機関、地域住民の皆様など物心両面のご支援をいただき心から感謝と御礼を申し上げます。これからは地域の役に立てるような新たな活動ができればと、始動に想いを巡らせているところです。

◆はじめに

八丈島に文化協会という名が初公表されたのは平成24年10月10日でした。体育協会に遅れること約40年。当時から創立の機会はあったようですが陽の目を見ることはなく、文化協会設立という組織化の大変さに40年近くを費やしました。私にとって10月10日は忘れられない感慨深い日です。設立の前年、多目的ホール建設が決まり、協会の前身「八丈島文化団体の会」は、町への要請行動などに奔走し設立機運も高まっていた。そんな矢先、奉也町長から文化団体の会に、協会設立の要請があり、組織づくりの不安は大でしたが、事態は文化協会設立へ急転加速しました。今思うと、島の将来を担う文化活動の一大決意をした出来事でした。

◆設立には40年近い島の文化活動が力に

私が島に住み出した昭和50年代初頭、今とは様変わりの島らしい素朴な印象がありました。文化団体らしき組織は見当たらず、子ども達に年に2・3回の舞台芸術の機会を創りたいと、保母・教員・文化活動されていた島の方々の協力を得て苦勞の末、文化組織を創りました。これが島始まって以来の自主自立の団体だったようで、過激集団、地域を攪乱、偏向団体、暴力的組織、反社会的な団体等と噂され世間は騒ぎとなり、議会・行政をも巻き込む大キャンペーンが蔓延しましたが、地道な活動で数年後には島の文化団体として期待される様になりました。そのころ地域文化づくりにと、今年30回を迎えた文化フェスティバルを始め、年々盛んとなり、その影響を受けてか、新しいジャンルの文化団体がポコポコ結成されました。これらの団体の自主活動や島外からのアーティストも加わり、今は文化立島を目指すような勢いを実感します。協会が出来、その周りに多くの団体が結集する環境がつけられました。文化協会のリーダーシップがますます試される文化環境にあります。

◆協会は常に地域文化振興の中心に

私は島の文化環境の創造と整備の方向性は、協会の設立で整いつつあると強く感じます。

今後は適切な活動方針と地道な実践活動で、さらに強固な信頼される組織にレベルアップされることと信じて疑いません。あらゆる団体・個人、関係機関、身近な住民の方々との協力協働を瞳のように大事にしながら、歩みは牛歩でも文化活動を通じた地域づくりを確実に地道に追求してほしいと期待しお祈りいたします。

最後に会員をはじめ、島の皆様のさらなるご活躍とご健勝をお祈りし、長年未熟な会長を支えご支援下さった島の皆さんへの御礼の挨拶といたします。

八丈島文化協会 会報 第24号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833

HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp

2018年7月13日 発行

第7回総会開催 —新会長に 山下和彦 就任—

～島しょ農業協同組合八丈島支店研修室 6月2日(土) 午後6時より～

文化協会第7回総会は、会員26名、来賓4名に出席頂き無事終了しました。ありがとうございました。来賓に佐藤誠教育長、小川一議員、山下芙美子観光協会会長、菊地庄一体育協会会長に出席頂きました。今回退任になる内山会長の挨拶、佐藤教育長の挨拶の後、山田幸也氏を議長に選出して議事に入りました。

平成29年度活動報告、平成29年度収支決算報告及び監査報告、平成30年度活動計画案、平成30年度予算案、平成30年度役員・理事体制についての報告の5議案の審議をして、全議案とも原案通り議決されました。意見交換会では協会活動に沢山の意見や貴重な提案を頂きました。運営に活かしていきます。

総会終了後の、懇親会に20名が参加。短い時間でしたが歓談しました。



総会を終えて思う事は沢山ありますが、まず会長を引き受けたものの務まるのか心配です。皆さんの協力をえて文化協会の安定した運営が出来るようにお手伝いさせていただきます。平成30年度は協会の主催事業の充実と発展、会員の要望に応えるためには協会の体制に必要なものを早く組織したいと思います。無償のボランティア頼みの運営はもうできません。計画のなかで有償の人員費を検討する、そして、どのようにして人員を確保できるか考えます。

おじゃれホール5周年記念「八丈名流祭」を開催

～島外からも多数の出演者、格好の文化交流の機会に～



5月20日多目的ホール「おじゃれ」は久しぶりに満席となるような熱気に包まれました。前年度から準備してきた多目的ホールおじゃれ5周年を記念した「八丈名流祭」の幕開けです。八丈島では初の大型舞台となり、大道具、照明、音響、衣装、かつら、小道具、化粧、狂言方など、明治座の協力で明治座舞台がそっくり「おじゃれ」に再現されたような舞台になりました。

祭典実現には、協会会員であり、毎年浅草での東京都名流祭に参加している「八丈檜会」の要望がありました。「これだけのホールを持ち5周年になる。本格的な記念舞台を島で！」と、町と東京都、東京新聞などに要請し助成を得て実現しました。主催は、文化協会も入る「芸能の祭典 八丈名流祭連携協議会」(八丈町、八丈島観光協会、八丈島文化協会、東京新聞、東京観光財団で構成)で、東海汽船、ANA全日空が協力し、島外から舞台出演者を含め100名近くの来島もありました。

舞台は古典舞踊、新舞踊、大正琴、八丈太鼓と盛りだくさん。島内外の文化愛好者の交流の機会としても大いに盛り上がりました。八丈から出演の10組ほどの演者も、本格舞台で演技切り大きな拍手を受けました。また、技術スタッフとして裏方を務めた島の3人は「最先端の技術を目の前で学ぶことができ、とても参考になり良い機会だった」と喜んでいました。



今年の八丈島自然っ子クラブ八丈小島体験は7月22日(日)!!

八丈島自然っ子クラブでは、今年は小学3年生以上の38名が入会し、毎年恒例になっている八丈小島体験事業を7月22日(日)に実施する予定です。

ひと昔前までは、PTA活動や職場のレクで小島へ渡る機会もありましたが、少子化や燃料高騰の影響からか最近すっかり聞かなくなり、小島は近くて遠い存在になっているようです。



自然っ子クラブでも、予算的な問題で小島上陸が難しくなっていました。幸いにも平成29年度から八丈島文化協会から漁船チャーター代の補助がいただけることになり、今年もまた多くの子ども達と小島に渡って貴重な体験をすることができます。皆様にはたいへん感謝いたします。

ここで簡単に、昨年の八丈小島上陸体験の様子を報告したいと思います。

昨年は、7月23日(日)の朝8時八重根漁港集合。参加者70名。2艘の漁船に分かれて乗り込み、絶好の天気でも風も弱く穏やかな海原を小島へ。船上から宇津木集落跡や崩落の続く断崖を観察し、30分程で小島北側の鳥打の海岸に到着。船の舳先から岩場に飛び降りて上陸しました。

上陸後は、まず鳥打集落跡の散策。小島の歴史やアホウドリの繁殖、ノヤギ駆除の話などを聞きながら、旧鳥打小中学校まで往復しました。船着き場に戻るといよいよ海遊び。歓声とともに足の届かない深い海へ子ども達も次々飛び込みます。続いて皆で朝の引いた磯へ行き、カメノテをたくさん収穫し、磯もの汁を作って食べました。午後からも引き続き海遊び。午後3時の迎えの船の時刻まで思う存分遊ぶことができました。短い時間でしたが、小島の豊かな自然と、かつてここで人々が暮らしていた歴史を感じることができ、良い思い出となりました。

八丈島 JAZZ フェスティバル 2018 8月18日(土)、19日(日)開催



今年で6回目の開催となる八丈島 JAZZ フェスティバル。初回から当イベントに携わってきたCJP(Children Jazz Project)の中心メンバーが高校3年生となり、世代交代という節目の年を迎えました。「ふるさとの発展のためにジャズフェスを残したい」という強い思いを受け継ぎ、今年も地元の子供達が活躍します。

今年のゲストは、ジャズ界の第一線で活躍されているヴィブラフォン奏者、赤松敏弘さん率いるスペシャルバンドです。初日の8月18日(土)は、ヴィブラフォンの音色にトランペットとフルートの彩りを加え、ベースとドラムがリズムを支える5人編成による演奏を存分にお楽しみいただけます。また同時にドリンクとフードを販売提供します。フードを担当するのは地元の高校生有志です。飲食店を営む専門家の指導のもと、メニューを考え、材料を仕入れるところから担当します。この日限りの“ライブハウス”へ、お気軽にお越しください。

2日目の8月19日(日)は、地元の小学生有志によるアンサンブルをはじめ、中・高校生と社会人による八丈ウィンドオーケストラの演奏をお送りします。赤松敏弘さんをはじめ、トランペットの市原ひかりさん、フルートの酒井麻生代さんをお迎えして、当イベントのコンセプトの一つである「プロ&アマ夢の共演」をお楽しみください。

夏休み後半の2日間は、地元の子供達の笑顔が満ち溢れる“八丈町多目的ホール「おじゃれ」”にお越しください。島外から照明などの専門スタッフを呼び寄せ、島民の技術スタッフと協働で創り出す、この日限りの“プレミアム・ステージ”です。八丈島 JAZZ フェスティバルに携わる子供達が、なぜここまで“ジャズフェス”にこだわるのか。その理由を確かめにお越しいただければ幸いです。



<INFORMATION>

○ プロステージ

8月18日(土) 開場 17:30、開演 18:30 会場：八丈町多目的ホール「おじゃれ」
出演：赤松敏弘(Vib) meets 市原ひかり(tp, fl, vl) with 小山太郎(ds) + 須川崇志(b) + 酒井麻生代(fl)
入場：前売券 1,800円、学生(高校生以下) 1,000円、親子ペア券 2,000円(前売販売のみ)
当日券 2,000円

<7月~9月のイベント予定> (協会主催・後援・加盟団体主催、出演等)

※ 協会の主催・後援イベントや加盟団体の活動を中心に掲載しました。詳細は、協会ホームページおよび「Faxメール通信」をご参照下さい。



- | | | |
|----|---------------|------------------------------|
| 7月 | 20(金)~22(日) | 八丈島夏まつり(加盟団体がステージに出演します) |
| | 22(日) | 自然っ子クラブ小島体験 |
| | 24(火) | 八丈島・北大東島の子供達による太鼓交流演奏会(協会後援) |
| 8月 | 18日(土)・19(日) | 八丈島 JAZZ フェスティバル 2018 |
| | 25日(土)~26日(日) | 自然っ子クラブキャンプ |
| 9月 | 7日(月) | 第75回八丈島民大学講座1日目「心とは何か」 |
| | 8日(水) | 第75回八丈島民大学講座2日目「宇宙誕生の謎にせまる」 |

八丈島・北大東島の子供達による太鼓交流演奏会

北大東島の子どもたちが来島し、世界的に著名な太鼓奏者・林英哲さんの司会進行のもとで、太鼓交流演奏会を行います。八丈からは、協会の公募により集まった16人の小中学生が出演します。ぜひご来場下さい。

日 時：7月24日(火) 15時開演(14時30分開場)

会 場：八丈町多目的ホール「おじゃれ」入場料 無料

主 催：大東太鼓 北曙会 協 力：八丈太鼓よされ会、八丈太鼓の会

後 援：八丈町・北大東村・八丈町教育委員会・八丈島文化協会

企画運営：大東リズムプロジェクト実行委員会

☆ 芸能文化祭と文化フェスティバルの開催日程についてのお知らせ

第6回芸能文化祭、第30回八丈島文化フェスティバルの開催日が下記のとおり決定いたしましたのでお知らせします。(4月発行の「八丈島イベントカレンダー」掲載から日程が変更になりましたのでご了承下さい)

- 第6回八丈島芸能文化祭 2018年11月17日(土)
- 第30回八丈島文化フェスティバル 舞台部門 2019年2月10日
作品展部門 2019年2月9日~11日

◎ 第30回八丈島文化フェスティバル 30周年記念大会参加者募集!

- ◆ 募集要項 8月13日よりホームページ上に公開、事務所にて配布。
- ◆ 募集期間 9月15日~9月30日
募集要項を確認の上、入力フォームより必要事項を入力して送信して頂くか、所定の申込用紙に必要事項を記載し、FAXまたは文化協会事務局まで直接ご持参ください。
- ◆ 持参受付：富士見地区公会堂(受付時間 平日・午前9時30分~11時30分)
FAX受付：04996-2-2833(文化協会代表)

○ アマステージ

8月19日(日) 開場 17:30、開演 18:00 会場：八丈町多目的ホール「おじゃれ」
出 演：八丈高等学校吹奏楽部、富士中学校吹奏楽部、三原中学校音楽部、大賀郷中学校音楽部
八丈ジュニアアンサンブル(地元小学生有志)、八丈島社会人吹奏楽団
ゲスト：赤松敏弘(vib)、市原ひかり(tp)、酒井麻生代(fl)

